

03 近畿大学、富士通(株) ▶ (株)食縁【和歌山県】

食でつながる人の縁「食縁CSFシステム」

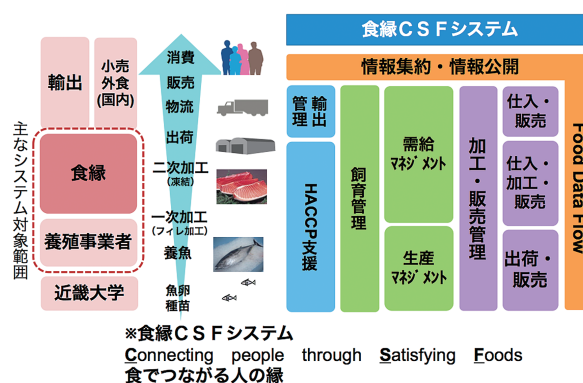
(株)食縁は、新宮市に加工と海外輸出の拠点を設け、2016年からブリをはじめとした国内養殖魚をアメリカ等へ輸出開始する。世界に知られる近畿大学の養殖ノウハウとクラウドで提供されるシステムにより、養殖飼育から仕入れ、加工生産、販売の工程を一貫して行う仕組みを構築している。

背景

日本国内の魚の市場は縮小しているが、欧米の水産市場は1兆円規模の拡大を続けるなど海外市場は成長している。また日本の古くからの魚食文化が世界で最も美味しい魚を作ることができる養殖業を生み出し、世界でトップレベルの養殖の技術を持っている。一方、世界のマーケットに養殖魚を展開するには、均一な味の魚の大量生産、長い輸送距離に対応した加工技術・輸送技術が必要となり、衛生的な処理環境の整備、海外のお客様の嗜好に合った味などの課題もある。そこで日本の養殖業が世界に進出し、戦うためにはICTの活用や経営的な手法が求められている。

概要

- (株)食縁は、新宮市と近畿大学の支援のもと2013年5月に設立し、国内有数の養殖事業者及び大手上場企業の出資を受け入れ、事業体制を構築。
- 冷凍品でも、解凍後生鮮の状態と同等の「食感」「香り」「うまみ」を適正な価格で提供することにより、日本の養殖魚を世界の水産市場へ広げることを目指している。
- 富士通(株)は、食の情報を養殖現場から消費者までシームレスにつなぎ、安心・安全を安定的に供給する仕組みを提供。農業・畜産等で培ったノウハウを活用しながら、養殖業向けの新たなサービスを提供。
- 近畿大学の養殖技術と養殖業者の匠の技、市場にあわせた餌の調合、高衛生で最先端の加工・出荷を融合しシステムで実現。



アピールポイント

農業・畜産等で培ったノウハウを活用し、以下の3システムを実現した。

- ①養殖飼育管理（飼育作業の予実管理、仕入れ・出荷の総合マネジメント）
- ②加工販売管理（工場機器と連動した仕入れ～加工～出荷までの工程管理）
- ③品質管理（生産/加工/流通の一貫したトレーサビリティ・品質の高位平準化、HACCP対応）

Key Person

- (株)食縁 代表取締役・近畿大学農学部 准教授
(株)自然産業研究所 取締役 有路昌彦氏

<プロフィール>

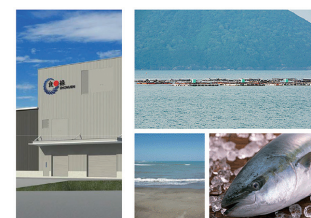
専門は食料経済学・食品リスクの経済分析・水産経済学・計量経済学・経営学、水産庁の有識者検討委員、内閣府食品安全委員会専門調査会委員として国の政策に関わるとともに、地域再生や経営再建などのコンサルティングも手掛ける。各自治体の委員、日本水産学会編集委員、水産政策委員など学会委員を多数兼務。水産、畜産及び食品全般にわたる講演多数。食品、養殖に関するコメンテーターとして取材を受けたり、テレビ・ラジオ出演多数。

主要な著書：「日本漁業の持続性に関する経済分析」（多賀出版）、「水産経済の定量経済」（成山堂書店）など。

(株)食縁 <http://shokuen.co.jp/>



有路昌彦氏



(株)食縁 完成予想図・風景

富士通株式会社 <http://www.fujitsu.com/jp/>

☎0120-933-200 富士通コンタクトライン（総合窓口）

受付時間9:00～17:30（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）